

## ペタンク通じ交流

弘前・仏プロジェクト  
留学生らとプレー



世代、国を問わず和気あいあいとペタンクを楽しむ参加者

弘前大学フランス語ホームページを通じて集まった弘大生らでつくる「Cercle Francophone (セルクル・フランコフォンヌ)」は31日、弘前公園レクリエーション広場でフランス発祥の球技・ペタンクの体験イベントを開き、学生と地域住民がペタンクを通じて交流を深めた。

イベントは、フランス語やフランス語圏文化を通じて国際化の感

(成田真矢)

受性を養う「弘前×フランス」プロジェクト(弘大地域未来創生センター、弘前市共催)の一環で、市ペタンク協会が共催した。弘大生やフランスからの弘大留学生、同協会員約50人が参加。プロジェクトの代表を務める弘大文学部の熊野真規子准教授と留学生がペタンクの歴史や豆知識を紹介した後、3人1チームに分かれてペタンクに挑戦。協会員が学生にルールやコツを親身に教えるなどゲームを楽しんだ。弘前市の西谷英子さん(75)は「学生たちとペタンクをやるのは初めて。フランス人留学生と話したら、普通の日本語より津軽弁の方が話しやすいと言っていて面白かった」と笑顔で話した。